

有限会社進功ブラスト工業所

装飾性や機能性の高い
サンドブラスト加工に対応海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応

中小企業庁の「ものづくり補助金」を利用して開発した自社製品のガラス製研磨台

業務内容
デジタルカメラなど外観の
品質向上で実績を積み

圧縮空気（エア）にアルミナやガラスビーズなどの研削材を混ぜて対象物の表面に吹き付け、強度や機能性、デザイン性を高めるサンドブラスト加工を50年近く手がけてきた。外観が非常に重視されるデジタルカメラやステレオのパネル、音楽プレーヤーのボディ向けなど装飾分野で多数の納入実績を持ち、滑り止めや保油性向上といった用途でも提案している。創業者である父の武島功氏の跡を継ぎ、平成25年に就任した武島幸蔵社長は「小口の顧客を1社でも増やすと同時に、この加工方法を幅広く使ってもらいたい」という方針を掲げ、新規顧客の開拓に取り組む。



サンドブラスト加工を行う工場

強み
マイクロメートル単位で
材料調整、加工も均一に

対象物の表面に、きめが整い粒子がそろった均一でムラのない加工をすることが得意で、さまざまな金属部品に対応する。創業当時から装飾用途で培ってきた長年の経験を生かすと同時に、難しいとされる材料（研削材）管理のノウハウも蓄積してきた。加工の途中で新しい材料を投入すると仕上がりが変わってしまうため、材料の粒径や粒度の誤差を数μm（マイクロメートルは100万分の1mm）単位で調整し、一定の品質レベル範囲内に収めていく。加工前の準備にもひと手間かけ

る。こうした技術を機能性部品向けにも活用し、近年さらに受注を増やしている。

自製品
加工精度や耐久性の高い
ガラス製研磨台を開発

創業以来、受注加工を主としてきたが、平成25年度の中小企業庁の「ものづくり補助金」で採択され、自社製品となるガラス製の研磨台を開発した。他社が手がける従来品に対して加工面の深さと幅が一定レベルでそろい、研磨のスピードが速くなり早く仕上げられる。耐久性は従来品の2倍に高まるという。また、ガラスの両面が利用可能で、1枚あたりの単価も低く抑えられる。すでに欧州の半導体メーカーに検査用途で採用されており、今後は、さらなる需要が見込まれる。

今後の展望
半導体・基板向けへの
展開目指し技術を発信

平成26年に大阪府の経営革新計画で承認を受け、ガラス製の研磨台の販売活動を本格化した。そして平成27年にはサンドブラスト加工を用いた基板の放熱性向上に関する研究が中小企業庁の「ものづくり補助金」に採択された。武島社長は「ブラスト加工は用途の幅が広い」とし、加工技術を生かして半導体や基板向け、表面改質用途への展開を模索。大阪府が運営する中小企業のものづくり支援施設「MOBIO」内の常設展示スペースをリニューアルし、展示会も積極的に活用しながら自社の技術を発信し、新分野への参入を狙う。

COMPANY PROFILE

有限会社進功ブラスト工業所

大阪
27当社の
歴史

昭和42年に創業し、昭和55年に法人化。そして平成25年から新たな体制でスタートしました。創業当初から、アルミ製の装飾パネルへのブラスト加工を行ってきました。光の反射を抑え、デザイン性を高めるような装飾用途で長年蓄積した技術や、培った材料管理のノウハウを生かして現在は表面改質や表面硬化といった機能を持たせるための加工も請け負っています。

サンドブラスト加工に使う研削材や加工後の面の粗さ、歪みなどを常に管理しています。最適な表面改質を提案します。

代表取締役 武島 幸蔵さん

■主な事業内容
サンドブラスト加工■主な取引先（納入先）
自動車部品、光学機部品、建築金物、家電、電機などのメーカー、金属熱処理分野

住所／〒577-0016
東大阪市長田西
5-3-11
TEL／06-6745-2997
FAX／06-6745-8156
創業／昭和42年6月
設立／平成25年1月
（新会社設立）
資本金／300万円
従業員／5名

http://shinko-blast.jp